

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

令和5年10月23日（No.8／1）発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

経営協議会開催

「2023年度に実施する駅の効率化施策」について

J R 四 国 労 組 は、「2023年度に実施する駅の効率化施策」について会社より説明を受けた。

会社から「要員に限られるなか、駅をどう維持し収入を上げるが課題と考えており、チケットアプリ等駅の業務を減らしながら検討を進めてきた」と説明を受けるとともに「今回無人化を提案する駅については、既に契約社員の確保ができず、社員を充当している駅が多いことから、本施策にともない、管理業務の要員効果が期待できる」との考えが示された。（詳細は別紙参照）

<主なやりとり>

組合：組合としては、安全と雇用が守られるのであれば、効率化そのものは避けられないと理解している。ただ、今回の資料では、駅の管理業務に従事する組合員、乗務員など本施策に影響を受ける職場に関しての説明・対応が不十分ではないか。例えば、端岡駅など乗降が多い駅では、停車時分等のダイヤを調整する必要はないのか。

会社：運輸部とも調整しながら、対応を検討してきた。無人化の対象駅について、端岡や伊予市といったご利用が一定数ある駅も含まれるが、管理駅からの助勤対応、当該駅における定期券のご利用状況等を勘案し、今回の形となった。

組合：離職が増えるなかで理由を聞くと、長い拘束時間やダブル行路に加え、集札業務が過酷という組合員からの声がある。無人化が拡大することにより、車掌業務や従来型ワンマン列車の集札に関する負担が増大することを危惧する。当該駅においては信用降車型ワンマン列車では集札を要さない一方で、今回の施策では集札を求めることに矛盾を感じる。特に特急列車は車内で切符を確認しているため、集札は不要ではないかと考えており、さまざまな見直しによって負担軽減もあわせて図るべき。また、チケットアプリの利便性は認識する一方で、組合員からは画面が見づらい点など改善の余地もある。加えて、確認行為自体をなくす工夫があっても良いのではないかと。

会社：収入確保の観点から、現状の人員でできる範囲については、従来どおり集札等を実施するという考え。ただ、将来的には業務内容を見直す必要はあると考えており、集札についても勉強していきたい。

アプリの仕様については、課題感を認識し、改善しているところ。案内方法等含め対応できるところから進めていきたい。

組合：これからの駅の管理業務についてどのように考えているのか。効率化により良くなった部分もあると思うが、皆が実感できておらず疲弊している。

会社：今回の施策によって、管理駅社員を中間駅に助勤させる必要はなくなり、要

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

令和5年10月23日（No.8／2終）発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

員としては一定改善が図られる。管理業務についてはグループ会社への業務委託も進めてきたが、受け入れ先が対応できなくなり、拡大には至っていない。しかしながら、管理業務の実作業を減らすという観点から、ゴミ箱の撤去や無人駅でのポスター掲示削減、券売機の廃止等を行っており、現場から「仕事が減った」という声もある。そのほか、予算が限られているが、除草業務の必要性を踏まえ、部外委託等の活用も行っており、またそもそも除草しなくてもいい場所の判別をしようとしている。駅管理業務のあり方については、別途勉強する機会を設けたい。

組合：車イス対応について、駅の形状等によってはハードな業務となる。また、ご利用に際し事前連絡があるケースもあると思うが、急遽の勤務変更や休みを潰して対応しているのが現状。また、今の管理者が非番で除草作業、車イス対応で疲弊している現状を見ると若手の組合員も管理者の職に魅力を感じないのではないか。

会社：車イス対応がどれぐらいの頻度なのか、負担感なのかを確認する必要もあると思うが、現時点では現行体制で対応いただきたい。

今回の施策により、助勤対応が不要になり、要員効果があることにご理解いただきたいし、現状要員が充足していても、今後を見据えると現時点で施策を実施しないとさらに厳しい状況になることが想定される。この施策に加えて、ハード対策を含めた省力化・省人化を通じて業務を減らしていく必要があると認識している。

組合：異常時において、デジタルサイネージの活用とあるが、情報提供等十分に行えるのか。

会社：操作については、管理駅及び本社で行うことが可能である。個別の列車は「列車走行位置情報サービス」等を活用すれば比較的わかりやすい案内になっていると考えている。

組合：今回無人化となる駅について、トイレの設置状況はどうか。

会社：対象駅は全てトイレが設置されているので、管理の業務を減らす観点からもあり方を今後検討する必要があるという認識。

組合：あわせて、車両にトイレを設置することも進めるべき。こうした施策と同時に対応できれば組合員の不安も払拭される。

今回説明を受けた「2023年度に実施する駅の効率化施策」については、営業部会及び関係支部、関係分会からただちに意見集約を行ったうえ、別途経営協議会を開催し、組合員の不安の払拭に努める。

以 上

駅の要員需給が逼迫する中、チケットアプリ導入をはじめとした無店舗販売の強化によって、駅業務の省力化を実現しつつ、**対象駅12駅の無人化**を以下のとおり進めてまいります。

無人化実施時期 **佐川駅…2023年12月29日** **その他駅…2024年3月ダイヤ改正日**

- ・改札は他の無人駅と同様に実施しない。集札は乗務員対応とする。（信用降車型ワンマンについては駅の運賃箱できっぷ等收受）
- ・乗車券・定期券・特企券は自動券売機やチケットアプリ等で発売する。（四国外のきっぷや指定席は他有人駅やe5489で対応）
- ・異常時等における列車の遅延・運休情報は運行情報等表示端末（デジタルサイネージ）を活用し音声・文字で提供する。
- ・緊急時や車いすのお客様等の対応は、他の無人駅と同様に管理駅で対応する。

駅名	自治体名	係員による きっぷ発売時間	乗降人員※1		取扱収入※1	
			人員（人）	定期割合	収入（円）	定期割合
端岡	香川県高松市	7:10～17:00※2	2,658	77%	241,927	31%
勝瑞	徳島県板野郡藍住町	7:00～15:20	2,430	77%	222,410	41%
石井	徳島県名西郡石井町	7:00～15:20	1,842	78%	157,896	44%
南小松島	徳島県小松島市	7:00～15:20	1,840	76%	167,839	44%
佐古	徳島県徳島市	7:00～15:20	1,712	75%	151,191	52%
羽ノ浦	徳島県阿南市	7:10～15:30	1,678	77%	123,738	39%
旭	高知県高知市	7:10～15:30	1,366	84%	103,188	35%
高瀬	香川県三豊市	7:00～15:45	1,248	81%	159,791	18%
伊予市	愛媛県伊予市	7:30～15:40	1,034	66%	201,541	37%
伊野	高知県吾川郡伊野町	7:20～15:40	956	66%	133,552	31%
板野	徳島県板野郡板野町	7:00～15:20	898	75%	201,164	26%
佐川	高知県高岡郡佐川町	7:20～15:40	766	72%	187,599	41%

※1 乗降人員・取扱収入は2019年度一日平均の数値 ※2 端岡駅は毎日営業、他駅は土曜・日曜・祝日・年末年始休業。

スケジュール	2023年	9月	関係従業員へ通知し希望を聞いた上で配転等調整
		10月	駅無人化プレス発表
		12月	佐川駅無人化
	2024年	3月	その他駅無人化